

環境影響評価調査計画書説明会の実施状況に関する概要報告

令和4年2月24日(木)、25日(金)に大里広域市町村圏組合主催により、(仮称)新深谷清掃センターの環境影響評価調査計画書についての説明会を開催いたしました。

その実施状況等に関する概要を下記のとおり報告いたします。

記

対象事業の名称	(仮称)新深谷清掃センター整備事業
説明会の実施状況	別表1のとおり
説明会での主な質疑・意見の概要	別表2及び別表3のとおり

別表1 説明会の実施状況

日時	令和4年2月24日(木) 19時～20時	令和4年2月25日(金) 19時～20時
場所	藤沢公民館 (深谷市人見 1967-1)	用土12区自治会館 (寄居町用土 3756-3)
収容人員	84名(コロナ対策後)	30名(コロナ対策後)
住民等 出席者数	12名	3名
事業者側 出席者の 役職・氏名	大里広域市町村圏組合 丸山事務局長 大屋事務局次長 本堂建設準備課長 清水建設準備課副課長 深谷市 富田環境衛生課長 パシフィックコンサルタンツ 株式会社 3名	大里広域市町村圏組合 丸山事務局長 大屋事務局次長 本堂建設準備課長 清水建設準備課副課長 寄居町 高橋生活環境エコタウン課長 パシフィックコンサルタンツ 株式会社 2名
周知方法	大里広域市町村圏組合ホームページ での告知 半径3km圏内の自治会に対する回覧 (説明会案内の配布)	大里広域市町村圏組合ホームページ での告知 半径3km圏内の自治会に対する回覧 (説明会案内の配布)

別表2 2月24日 藤沢公民館説明会での主な質疑・意見の概要

	質疑・意見の概要	事業者側の回答
1	<p>深谷清掃センターは現行の120トンの規模から205トンに、7割程度計画が大きくなることから、環境への負荷が今より大きくなるのではないかと。</p> <p>具体的には、環境の負荷が増える中でも煙突の高さが同じで、特に問題がないのか。</p>	<p>深谷市のごみ量は、現行の深谷清掃センターでは規模が小さく、全然足りていない状況にあります。そういう意味で、皆さんには御負担をおかけしますが、規模を大きくさせていただいております。</p> <p>扱うごみ量は増えますが、公害に対しては、今以上に厳しい公害防止基準というものを設定いたします。</p>
2	<p>処理方式が、今のところ4つあるけども、深谷の施設と熊谷の施設で、今後、同じになるのか、どういう形に決まっていくのか。</p>	<p>処理方式は、ストーカ方式、流動床方式、シャフト炉式ガス化溶融方式、流動床式ガス化溶融方式という4つの方式の中から、どれが良いかということ、精査をしている段階です。</p>
3	<p>規模が大きくなるところで、処理するごみ量も増えてくると収集日はどうなるのか。</p>	<p>深谷市は、現在週4回燃えるごみの回収と、週1回資源ごみの回収ということで週5日、収集車を回している状況です。計画では今までどおり週5日収集車を回していくという方向で進んでいます。</p>
4	<p>新施設において、世界的にCO₂の削減というのが課題になっている中で、どのような検討取組というのはされているのか。</p>	<p>基本はタービン発電機による発電を計画しています。施設内で使う電力を自分で発電して賄います。それでも余る電力につきましては、売電を行います。また、隣にある深谷グリーンパーク・パティオの温水プールへの熱供給を継続します。エネルギー回収率として20.5%以上という高効率の発電をして、低炭素化に寄与していきたいと考えております。</p> <p>そのほか地球温暖化防止のため、余計なエネルギーを使わないよう、設備機器について、例えばインバーター化を図るなど様々なやり方がありますが、そういうことができるような施設として整備していきたいと考えております。</p>

	質疑・意見の概要	事業者側の回答
5	煙突の高さは、熊谷市別府にある熊谷衛生センターは何メートルになりますか。	別府のほうも同じく 59 メートルです。
6	煙突の高さは今と変わらないのか。	現状の高さと同じとなります。
7	59 メートルの高さよりももっと高くして拡散を効率良くということは考えないのか。	<p>煙突の高さには航空法の制限があり、60メートルを超える煙突になりますと、航空障害灯を設置しなければいけないということになります。</p> <p>この近辺ですと、太平洋セメント(株)熊谷工場の煙突に赤い光が、夜、光っているのが分かると思いますが、日中ですとフラッシュライトのようなピカピカッと光を放射してはいけません。これらが一般的に周辺住民の皆さんに嫌われるものですので、今回、航空法の制限の中で考えたということです。</p> <p>煙突を高くすれば高くするだけ、より高いところにガスを吹き上げて拡散させることによって薄い濃度になるというのは確かですが、今回環境影響評価をやっていく中で、59 メートルの煙突から排出したとしても、人間の健康を守るための環境基準を十分満足できるかどうかということを検証していきたいと考えております。</p> <p>もし万が一、それでは環境基準が守れないということになれば、もっと性能の良い(金額が高い)排ガス処理装置を入れて排出濃度を低く抑えるか、あるいは煙突の高さを高くして抑えるかというようなことになってきます。</p>
8	パティオのほうに今、供給している熱量は、現状と変わらないのか、それとも増えるんですか。	パティオに供給しております熱量は、現状と変わらない形を予定しております。

	質疑・意見の概要	事業者側の回答
9	<p>深谷市榎合の場合にはパティオがありますが、熊谷市別府には温水プールがありませんので、熱量はさっき言ったタービン発電機で解消して、エネルギー効率を上げるだけになるのか。それとも、深谷市ではないので直接関係ないと思いますが、熊谷市は何か別の施設を作る予定なのか。</p>	<p>熊谷衛生センターでは、隣接する入浴施設の別府荘へお湯を供給しております。新施設が出来るときに、別府荘がどうなるかというところまではまだ分かりませんが、現状と変わらない方向で考えております。</p> <p>ただ、現行の両施設ともに、発電施設とかそういうものがないので、新施設には発電機能を付けることを考えております。</p>
10	<p>新しい施設が出来上がって運転を開始した後、定期的な環境の調査をするのかどうか。</p>	<p>現行施設においても煙突から出るダイオキシン類等を年に2回測定をしております。新施設を建てた後についても、大気汚染については測定をして、皆さんに安心してもらえるような施設運営に努めて参りたいと考えております。</p>
11	<p>今後、事業を進める中で、地元の深谷市榎合を含め、近隣の住民の方に丁寧な説明をお願いしたい</p>	<p>御要望については承りたいと思います。</p>

別表3 2月25日 用土12区自治会館説明会での主な質疑・意見の概要

	質疑・意見の概要	事業者側の回答
1	<p>今回の新計画、ごみ焼却施設の集約の中で、江南清掃センターの今後の扱いはどのようなになるのか。</p>	<p>江南清掃センターは、(仮称)新深谷清掃センターと(仮称)新熊谷衛生センター開設後に廃止することを考えております。</p> <p>組合としては、施設の運営を集約化、集中化させ、現在ある4施設を2施設、深谷と熊谷に統合する計画で進めております。</p>
2	<p>ダイオキシンの拡散範囲はどのくらいか。寄居町用土は深谷清掃センターから3キロ程度の位置にあるが、煙突から出たものがこの3キロあたりまで届くのか、それ以上に拡散していくものなのか。</p>	<p>深谷清掃センターでは現在も煙突でダイオキシン類の排出量を計測しております。例えば令和3年12月7日に測定をした値では、1号炉で0.11ng-TEQ/m³N、2号炉で0.0015 ng-TEQ/m³Nとなり、国の基準値5ng-TEQ/m³Nに対しても全然桁が違う数値となっています。</p> <p>ダイオキシン拡散の範囲は、大体1キロから2キロ圏内ぐらいのところ、年平均値の最大着地濃度地点が出てくる可能性があると考えております。</p> <p>ただし、こちらの地域の年間の風向では、西北西の風が強いことから、最大着地濃度地点は寄居町側よりも深谷市側のほうに出るだろうと考えております。</p> <p>また、今回計画している新施設のダイオキシン類の濃度は、既存の深谷清掃センターの10分の1程度の濃度まで低くなります。</p> <p>なお、本当に大丈夫なのかということ、今回の環境影響評価の中で確認をさせていただきたいと思っております。</p>
3	<p>新計画における脱炭素についての取組はどのように考えているのか。</p>	<p>まずは発電等を多くして、売電をし、隣接する施設へ熱供給を行っていくことで、余熱利用等を進めまして、本来ですと石油を燃やして発電していたものを、ごみを燃やして発電することで低炭素化を進めていくということでございます。</p> <p>設備機器につきましても、最新鋭のものを</p>

	質疑・意見の概要	事業者側の回答
		<p>導入して(例えばインバーター化等)、そういうところでエネルギーをあまり使わない施設の運用に努めていきたいと思っております。</p> <p>また、プラスチック循環法が制定され、燃やすのではなくリサイクルというような方向に、国が舵を切っているため、構成市町ではプラスチック対策が進んでいくであろうと思います。</p>
4	<p>現行、江南清掃センターにごみを搬入している寄居地区のエリアが、今度新しく出来る深谷清掃センターへ搬入するようになります。深谷の施設規模も大きくなって、そこに向かうパッカー車が多くなりますので、新施設の計画では適切なルートを設定していただきたい。それによって、交通安全についても寄与できるような検討をお願いしたい。</p>	<p>寄居町では、現在、用土地区のごみは深谷清掃センターに入れてもらっております。これは走行ルートが決められておりまして、県道を使って搬入することになっております。</p> <p>男衾地区や鉢形地区等のごみを新深谷に搬入することが決定したならば、改めて話し合いによりルート設定をして、安全に通れる広い道を選定して定める必要があると考えております。</p> <p>現在建設中の深谷市花園のアウトレットモールが出来た場合には、また交通状況が変わると思いますので、ルートについてはまだ検討中です。</p>

以上